

第2号議案

災害等扶助交付金の金額の決定及び通知並びに同交付金の交付について (案)

東北電力ネットワーク株式会社及び北海道電力ネットワーク株式会社より受理した災害等扶助交付金の交付申請書に関して、業務規程第176条の13第1項の規定に基づき申請内容の精査を行った。これを踏まえ、同条第2項の規定に基づき交付金額を決定し、交付対象者へ決定通知書により通知するとともに、同規程第176条の14の規定に基づき交付する。

1. 交付申請者

- (1) 東北電力ネットワーク株式会社
- (2) 北海道電力ネットワーク株式会社

2. 申請件名 (案件番号)

- (1) (東北エリア) 2022年12月大雪による被害に対する仮復旧費用
(2023-01)
- (2) (北海道エリア) 2022年12月暴風雪による被害に対する仮復旧費用
(2023-02)

※(1)は東北電力ネットワーク株式会社、(2)は北海道電力ネットワーク株式会社からの申請

※上記件名は、申請事業者からの申請件名に基づく

3. 申請受理日 (案件番号)

- (1) 2023年6月23日 (2023-01)
- (2) 2023年6月23日 (2023-02)

4. 交付金額 (審査結果)

別紙1の審査結果に基づく (自己負担1割を除いた額)

(1)	931,764,000円 (2023-01)
(2)	358,625,000円 (2023-02)

5. 申請事業者への決定通知書

別紙2及び別紙3の通り

6. 交付金の交付（支払い）

4. の交付金額については、災害等復旧費用の相互扶助運用要領3.（5）の規定に基づき、決裁日の翌月末日（2023年9月末）までに支払う。

以 上

【添付資料】

別紙1：災害等扶助交付金の申請内容及び審査結果について

別紙2：災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について（（東北エリア）
2022年12月大雪による被害に対する仮復旧費用（2023-01））

別紙3：災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について（（北海道エリア）
2022年12月暴風雪による被害に対する仮復旧費用（2023-02））

＜参考＞業務規程（抜粋）

（災害等扶助交付金の金額の決定）

第176条の13 本機関は、交付対象者より災害等扶助交付金の申請があった場合には、第176条の15に規定する運用要領で定める基準により申請内容を精査する。
2 本機関は、前項の精査を踏まえ、交付対象費用と認められる金額から、交付対象者による1割の自己負担分を控除して災害等扶助交付金の金額を決定し、当該申請をした交付対象者に通知する。

（災害等扶助交付金の交付）

第176条の14 本機関は、前条第2項の規定により通知した金額を当該申請をした交付対象者に交付する。

災害等扶助交付金の申請内容及び審査結果について

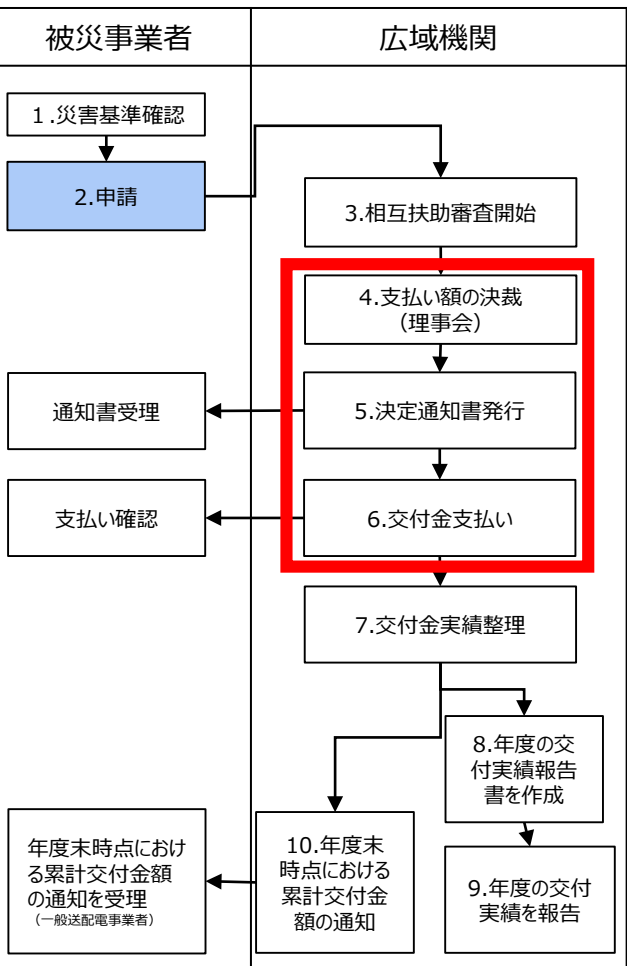
1. (東北エリア) 2022年12月大雪による被害に対する仮復旧費用
2. (北海道エリア) 2022年12月暴風雪による被害に対する仮復旧費用

1. 災害等扶助交付金の申請内容について

- 東北電力ネットワーク(株)及び北海道電力ネットワーク(株)より、計2件の災害等扶助交付金申請があった。(申請書類の不備等の有無を確認の上、6/23付で受理)
- 事務局にて申請内容について審査を行った結果を以って、本理事会にて交付額を決定し、決定通知書により通知するとともに、同交付金の交付を行うこととした。

<申請交付に係る業務フロー>

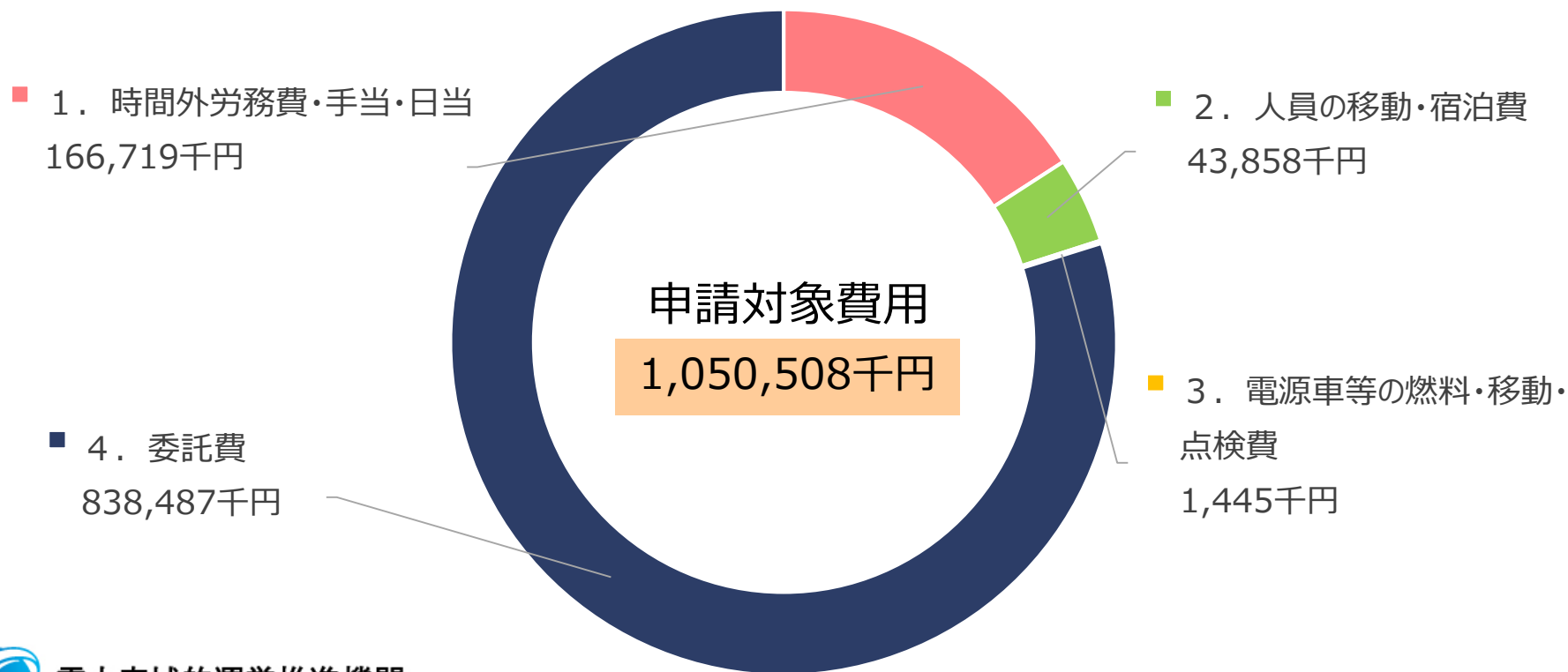
<今回申請内容>



件名 (エリア)	停電発生日 (下段：99%停電 解消日)	該当する災害要件	最大停電 件数	申請額 (下段：申請対象 費用)
12月大雪 (東北)	2022/12/18 (2022/12/26)	【事後】 ・(災害共通) 相互扶 助制度の対象費用が5 億円以上	29,378戸	945,458,000円 (1,050,508,381円)
12月暴風雪 (北海道)	2022/12/22 (2022/12/25)	【事後】 ・(災害共通) 相互扶 助制度の対象費用が年 間想定需要×1銭以上 (※)	25,749戸	358,625,000円 (398,471,792円)
合計				1,304,083,000円 (1,448,980,173円)

(※) 北海道電力ネットワーク(株)の申請対象費用398,471,792円を、北海道エリアの2022年度想定需要28,794百万kwhで除すと1.39銭となり、「1銭以上」の災害要件に該当

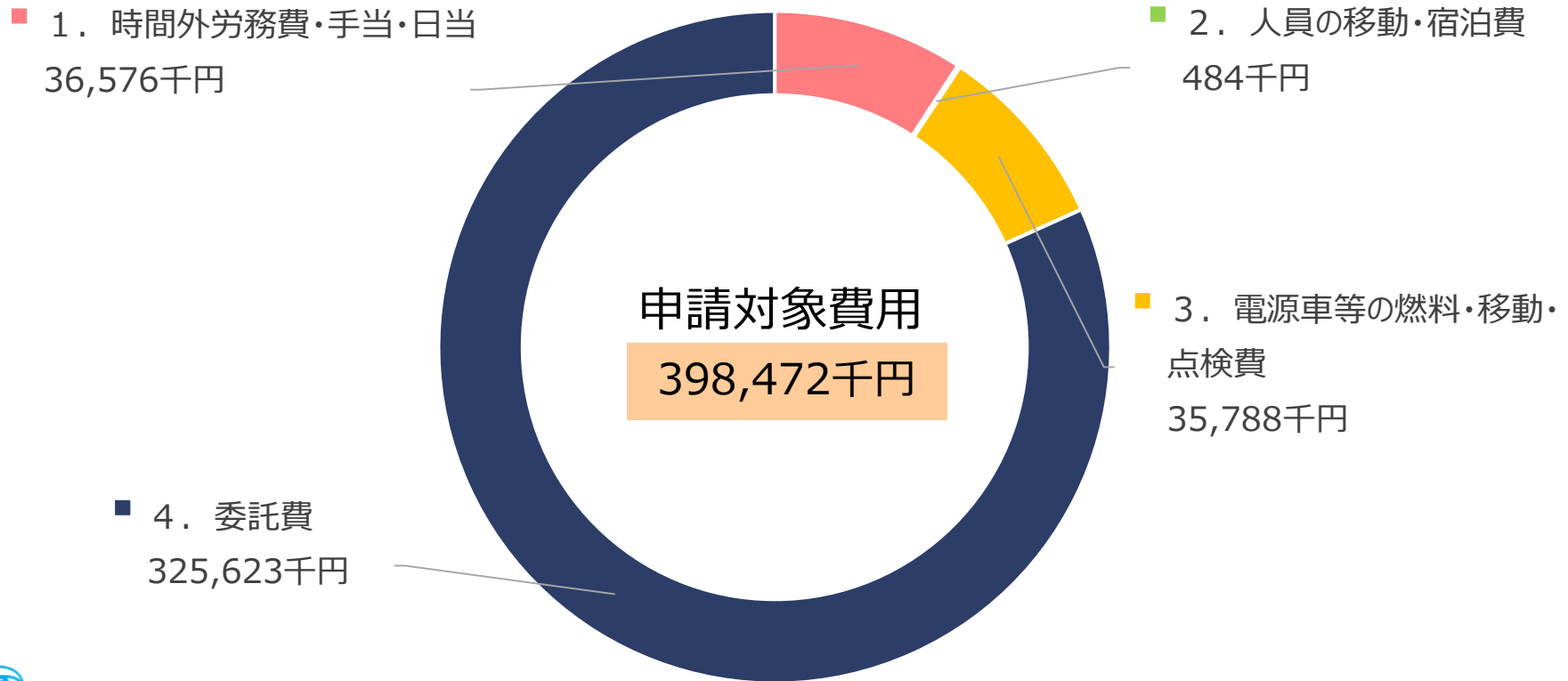
- 仮復旧作業は9日間であり、時間外労務費の対象者として合計1,606名が対応にあたった。
- 申請金額の約8割は委託費であった。仮復旧作業としては、倒木除去・伐採作業・巡視、電線の断線や混線による配電工事等であった。
- 他電力からの応援はなかった。
- 審査の結果、委託費の申請に含まれていた社給資材費（柱上変圧器、低圧線、コンクリート柱など資産となるため対象外）、及び手当・日当、移動・宿泊費の転記誤り等の申請分を合わせた15,215千円を未承認とした。



※四捨五入の関係で各項目の金額と合計金額が合わない場合がある。

(2) (北海道エリア) 2022年12月暴風雪～申請金額の概要および査定～

- 仮復旧作業は4日間であり、時間外労務費の対象者として延べ1,756名が対応にあたった。
- 申請金額の約8割は委託費であった。仮復旧作業としては、紋別東線鉄塔倒壊による復旧や送電線の断線、電柱の折損・傾斜・倒壊、高圧線の断線・混触、変圧器の損傷による復旧、倒木除去、巡視等であった。
- 他電力からの応援はなかった。
- 審査の結果、申請交付額全額を承認した。



2. 審査結果（総括）

- 審査の結果、一部申請内容の軽微な誤りによる減額を行ったうえで、**それ以外には申請金額や証憑等に問題がないことを確認した。**
- 本申請案件に係る交付額について、**「(東北エリア)12月大雪」及び「(北海道エリア)12月暴風雪」の2件において、1,290,389,000円で決定する。**

	申請対象費用	審査結果		交付額 (審査の上決定)
		減額	承認額	
(東北エリア)12月大雪	1,050,508,381円	15,214,924円	1,035,293,457円	931,764,000円
(北海道エリア)12月暴風雪	398,471,792円	0円	398,471,792円	358,625,000円
合計	1,448,980,173円	15,214,924円	1,433,765,249円	1,290,389,000円

×
0.9

(10%は自己負担)
千円未満四捨五入

- 速やかに**交付額の決定通知書**を発行し、**交付対象者へ通知**する。
- 交付金については、運用要領3.(5)の規定に基づき、**全額を理事会決議日の翌月末（9月末）に支払う**。

	交付額 (今回決定)		理事会決議日の翌月末（2023年9月末） における支払い額
(東北エリア)12月大雪	931,764,000円	⇒	931,764,000円
(北海道エリア)12月暴風雪	358,625,000円	⇒	358,625,000円
		計	1,290,389,000円

[積立残高]

現行積立残高（①－②－③）	3,692,680,000円
上記交付額支払い後の積立残高	2,402,291,000円

(参考)

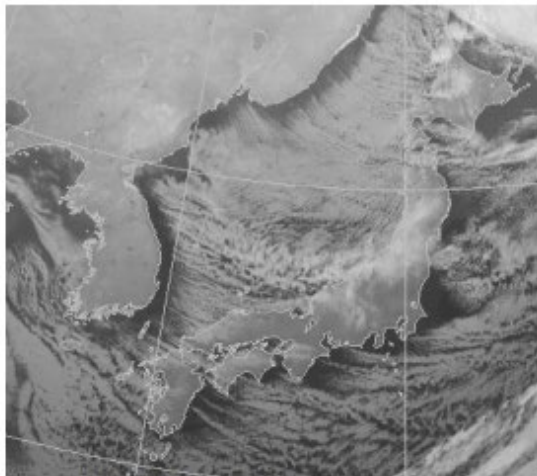
①2023年度抛出総額	6,210,000,000円
②2022年度末時点既交付決定額未払い分	2,105,313,000円
③2023年度交付実績累計	412,007,000円

【補足資料】

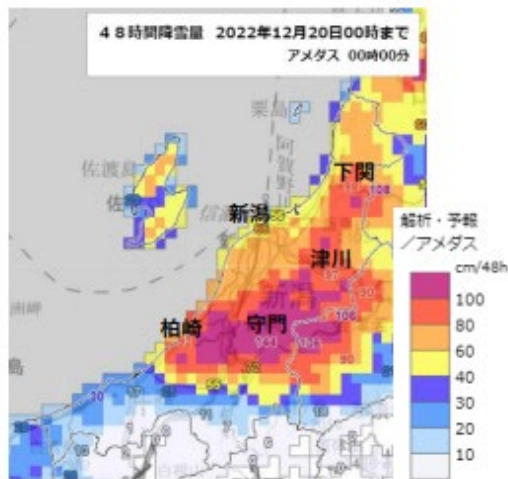
1. (東北エリア) 2022年12月大雪による被害に対する仮復旧費用 〈東北電力ネットワーク株式会社〉

項目	内容									
1. 件名	(東北エリア) 2022年12月大雪による被害に対する仮復旧費用									
2. 災害要件	<p>(事後) 相互扶助制度の対象費用が5億円以上</p> <table border="1" data-bbox="510 425 1870 958"> <thead> <tr> <th data-bbox="510 425 664 486">判断 タイミング</th> <th data-bbox="664 425 1489 486">災害基準要件</th> <th data-bbox="1489 425 1870 486">具体的判断材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="510 486 664 782">発災直後</td> <td data-bbox="664 486 1489 782"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数)10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速:10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 </td> <td data-bbox="1489 486 1870 782"> <ul style="list-style-type: none"> - ・事業者が公表する最大供給支障軒数 ・気象庁データ他 ・気象庁データ他 ・気象庁データ他 ・書面、メール、電話等による要請 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 782 664 958">事後</td> <td data-bbox="664 782 1489 958"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下に該当する場合 ・(災害共通) 相互扶助制度の対象費用が5億円以上、あるいは年間想定需要(kWh)×1銭以上 <p>※上記の災害要件に該当しない場合でも、基準に準ずる災害と事後検証の結果、認められた場合</p> </td> <td data-bbox="1489 782 1870 958"> <ul style="list-style-type: none"> - ・事業者が申請する対象費用 ・供給計画の年間想定需要(使用端) ・国と協議(必要があれば国の審議会等でも審議)の上、理事会で決議 </td> </tr> </tbody> </table>	判断 タイミング	災害基準要件	具体的判断材料	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数)10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速:10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 	<ul style="list-style-type: none"> - ・事業者が公表する最大供給支障軒数 ・気象庁データ他 ・気象庁データ他 ・気象庁データ他 ・書面、メール、電話等による要請 	事後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下に該当する場合 ・(災害共通) 相互扶助制度の対象費用が5億円以上、あるいは年間想定需要(kWh)×1銭以上 <p>※上記の災害要件に該当しない場合でも、基準に準ずる災害と事後検証の結果、認められた場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ・事業者が申請する対象費用 ・供給計画の年間想定需要(使用端) ・国と協議(必要があれば国の審議会等でも審議)の上、理事会で決議
判断 タイミング	災害基準要件	具体的判断材料								
発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数)10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速:10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 	<ul style="list-style-type: none"> - ・事業者が公表する最大供給支障軒数 ・気象庁データ他 ・気象庁データ他 ・気象庁データ他 ・書面、メール、電話等による要請 								
事後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下に該当する場合 ・(災害共通) 相互扶助制度の対象費用が5億円以上、あるいは年間想定需要(kWh)×1銭以上 <p>※上記の災害要件に該当しない場合でも、基準に準ずる災害と事後検証の結果、認められた場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ・事業者が申請する対象費用 ・供給計画の年間想定需要(使用端) ・国と協議(必要があれば国の審議会等でも審議)の上、理事会で決議 								
3. 被害状況	<ul style="list-style-type: none"> ・停電発生日時 : 2022年12月18日(日)9時26分 ・最大停電日時、戸数 : 2022年12月20日(火)10時41分、29,378戸 ・損害設備状況 : 電線の断線や混線等 ・主な停電の原因 : 湿雪の影響による倒木のため 									
4. 仮復旧終了日(扱い日)	2022年12月26日(月)20時									
5. 申請交付金額 (自己負担一割を除いた額)	945,458,000円									

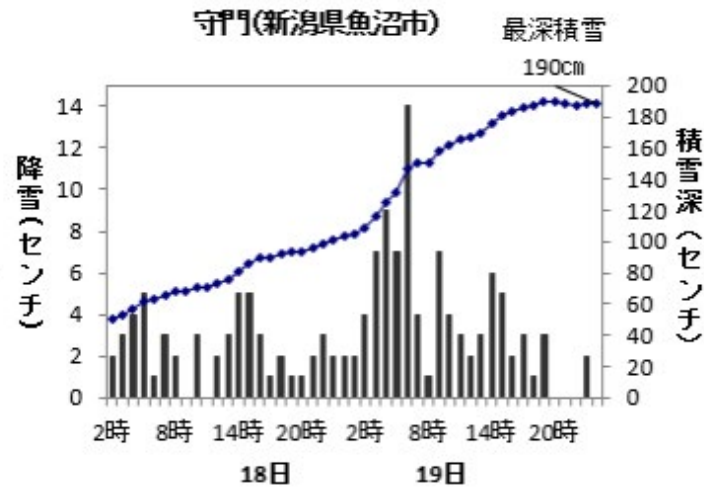
- 2022年12月18日から19日にかけて強い冬型の気圧配置となり、新潟県の上空約5,500メートルには氷点下30度以下のこの時期としては強い寒気が流れ込んだ。19日未明から夕方にかけて、JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）に伴う発達した雪雲が流れ込み続けた下越と中越を中心に、記録的な大雪となった。魚沼市守門では、19日7時までの6時間に45センチの顕著な降雪を観測し「顕著な大雪に関する新潟県気象情報」を発表した。また、日降雪量が阿賀町津川で84センチ（18日）、柏崎で72センチ（19日）、関川村下関で56センチ（18日）となり、それぞれ観測史上1位の記録を更新したほか、新潟では、20日2時に積雪68センチを観測し、12月の月最深積雪の大きい方から2位となった。
- この大雪により、高速道路の通行止め、長岡市や柏崎市を中心とした車両の立ち往生、佐渡市等での倒木による停電、鉄道の運休・遅延などの交通障害が発生したほか、除雪中の事故や路面凍結による転倒などの人的被害が発生した。



気象衛星赤外画像（12月19日3時）



12月20日0時の前48時間降雪量
（地図：地理院タイル）

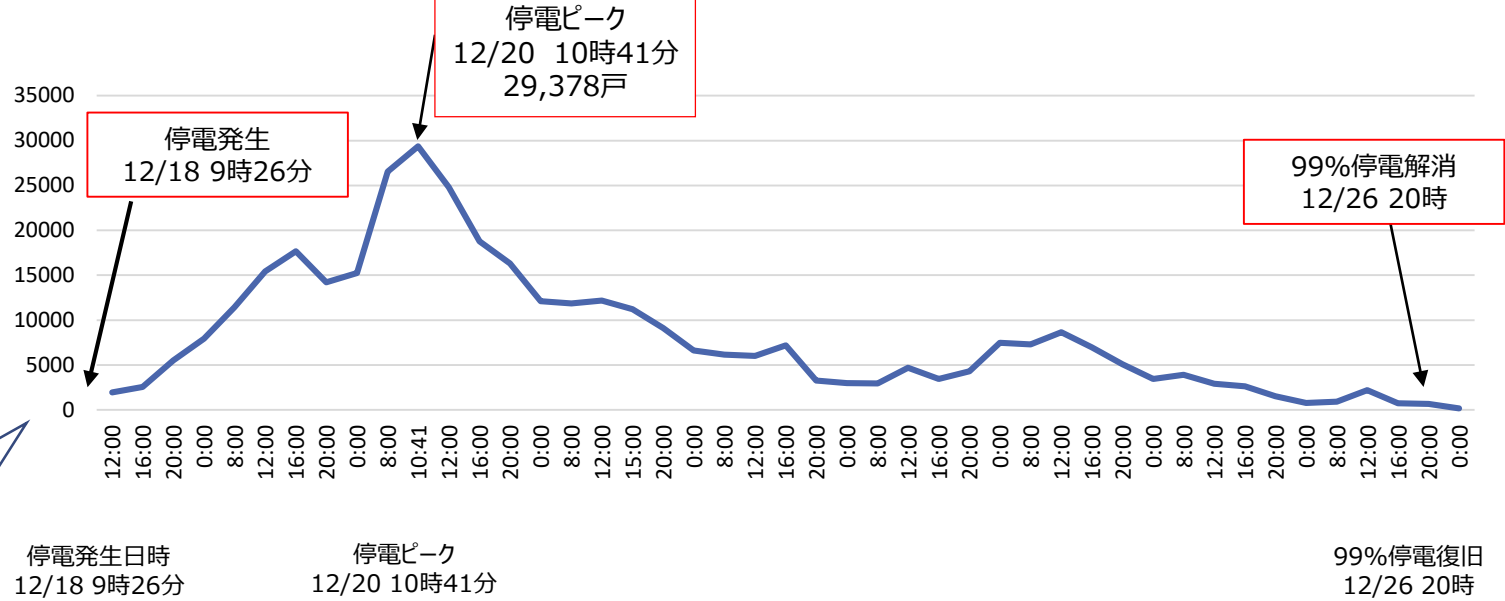


魚沼市守門の1時間ごとの降雪（12月18日～19日）

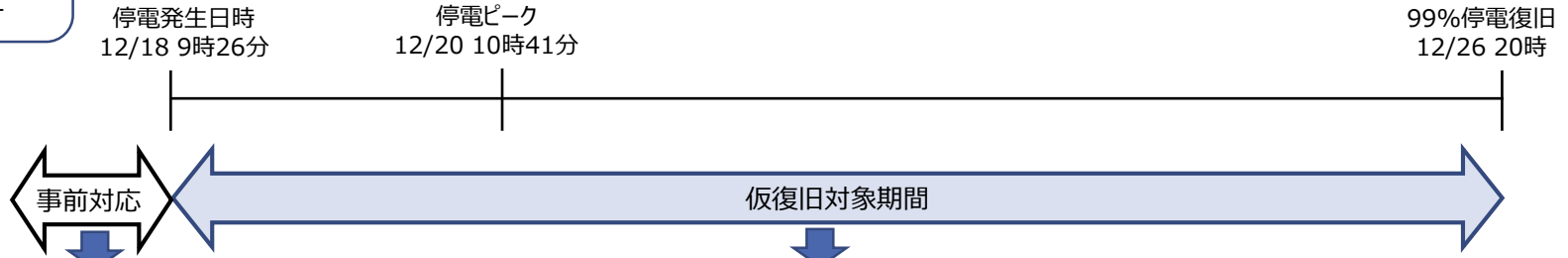
出典：新潟地方気象台資料より一部抜粋

https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/saigai_NI/069_2022.pdf

停電軒数の推移



【災害基準要件】
相互扶助制度の対象
費用が5億円以上



時間外 日当	該当なし	非常災害対応・配電線事故対応等
宿泊 旅費	該当なし	非常災害対応に資する申請 (復路分含む)
直接工事 (資機材)		該当なし
委託費	仮/本 区分可	該当なし
	仮/本 区分不可	該当なし

- 時間外労務費の対象として、合計1,606名が復旧対応にあたった。
- 申請している作業内容が適切か、時間外単価が当該会社の各種規程に基づき適切に計算されているか、申請期間が「仮復旧対象期間（～99%停電復旧日まで）」を逸脱していないか等について審査を実施した。結果、「その他手当」や「日当」の申請のうち、**エビデンスから提出書類への転記誤りがあった80千円を未承認**とした。

<①時間外労務費内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
時間外労務費	131,652	131,652	0
その他手当 (深夜手当・特別労働手当・作業 手当・呼出手当)	29,231	29,215	16
日当 (雪上歩行賃含む)	5,836	5,772	64
計	166,719	166,639	80

審査結果 ②人員の移動・宿泊費

- 人員の移動・宿泊費の対象は、12/18～12/26(仮復旧99%終了日)までの9日間であった。
- 対象となる移動費が証憑と整合しているか、宿泊費が当該会社の各種規程や証憑と整合しているか、利用期間等について相違がないかを審査し、結果、**エビデンスから提出書類への転記誤りがあった117千円について未承認**とした。

<②人員の移動・宿泊費及びその他費用の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
移動費 (高速代・レンタカー・ タクシー・マイカー代含む)	22,465	22,461	4
宿泊費 (キャンセル代含む)	21,393	21,280	113
計	43,858	43,741	117

※千円未満四捨五入

- 電源車等の燃料・移動・点検費の対象は、電源車の燃料費であった。
- エビデンスに基づき、作業期間や内容に関し審査を行い、申請内容に問題がないことを確認した。

<③電源車等の燃料・移動・点検費>

単位：千円

項目	申請対象 費用	審査額	差異
電源車の燃料費 (軽油税含む)	1,445	1,445	0
計	1,445	1,445	0

※千円未満四捨五入

- 委託費は、倒木除去・伐採作業・巡視、電線の断線や混線による配電工事等のための費用であった。
- エビデンスに基づき、作業期間や内容に関し審査を行った結果、委託費の資材（金物類（腕金、バンド類）、電線接続材（圧縮スリーブ）、絶縁カバー類など）の中に社給資材費（柱上変圧器、低圧線、コンクリート柱など資産となるため対象外）が含まれていたため、当該申請分は未承認とした。

<④委託費の内訳>

単位：千円

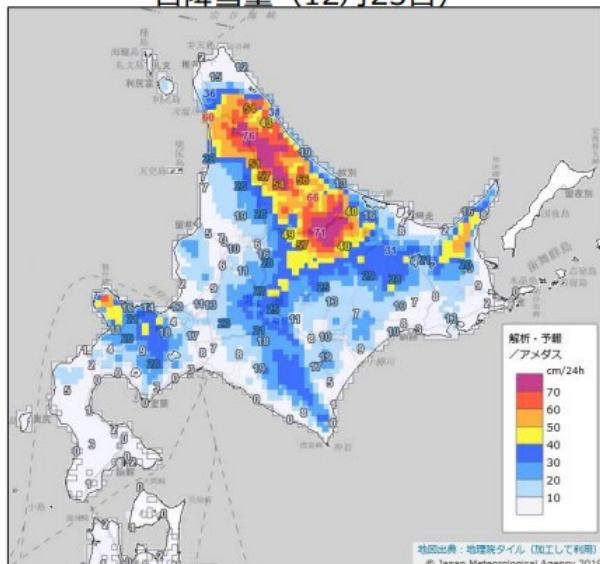
項目	申請対象費用	審査額	差異
倒木除去・伐採工事等	795,774	780,891	14,883
巡視(ヘリ巡視含む)	30,520	30,520	0
配線工事等	8,508	8,373	135
ジャンパー開放	3,354	3,354	0
除雪作業	331	331	0
計	838,487	823,469	15,018

2. (北海道エリア) 2022年12月暴風雪による被害に対する仮復旧費用 〈北海道電力ネットワーク株式会社〉

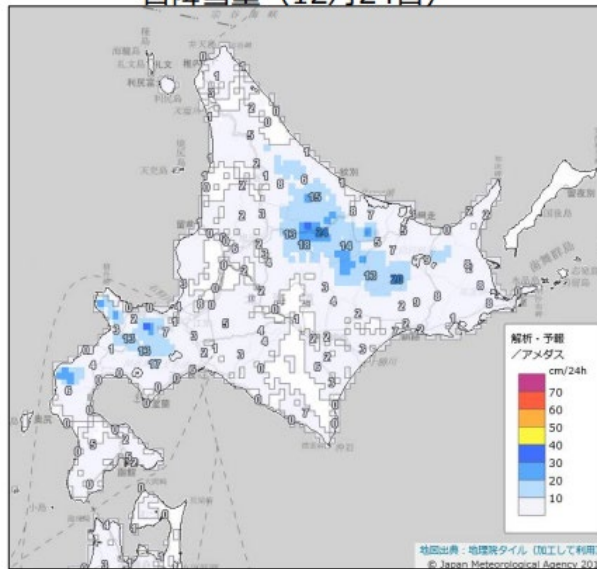
項目	内容																					
1. 件名	(北海道エリア) 2022年12月暴風雪による被害に対する仮復旧費用																					
2. 災害要件	<p>(事後) 相互扶助制度の対象費用が年間想定需要(28,794百万kWh)×1銭以上</p> <table border="1" data-bbox="517 439 1821 915"> <thead> <tr> <th data-bbox="517 439 664 496">判断 タイミング</th> <th data-bbox="664 439 1450 496">災害基準要件</th> <th data-bbox="1450 439 1821 496">具体的判断材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="517 496 664 753" rowspan="5">発災直後</td> <td data-bbox="664 496 1450 539">●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合</td> <td data-bbox="1450 496 1821 539">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="664 539 1450 582">・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上</td> <td data-bbox="1450 539 1821 582">・事業者が公表する最大供給支障軒数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="664 582 1450 639">・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速: 10分間平均風速の最大値</td> <td data-bbox="1450 582 1821 639">・気象庁データ他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="664 639 1450 682">・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合</td> <td data-bbox="1450 639 1821 682">・気象庁データ他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="664 682 1450 753">・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合</td> <td data-bbox="1450 682 1821 753">・気象庁データ他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 753 664 915" rowspan="3">事後</td> <td data-bbox="664 753 1450 796">●電力供給エリアにおいて、以下に該当する場合</td> <td data-bbox="1450 753 1821 796">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="664 796 1450 868">・(災害共通) 相互扶助制度の対象費用が5億円以上、あるいは年間想定需要(kWh)×1銭以上</td> <td data-bbox="1450 796 1821 868">・事業者が申請する対象費用 ・供給計画の年間想定需要(使用端)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="664 868 1450 915">※上記の災害要件に該当しない場合でも、基準に準ずる災害と事後検証の結果、認められた場合</td> <td data-bbox="1450 868 1821 915">・国と協議(必要があれば国の審議会等でも審議)の上、理事会で決議</td> </tr> </tbody> </table>	判断 タイミング	災害基準要件	具体的判断材料	発災直後	●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合	-	・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上	・事業者が公表する最大供給支障軒数	・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速: 10分間平均風速の最大値	・気象庁データ他	・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合	・気象庁データ他	・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合	・気象庁データ他	事後	●電力供給エリアにおいて、以下に該当する場合	-	・(災害共通) 相互扶助制度の対象費用が5億円以上、あるいは年間想定需要(kWh)×1銭以上	・事業者が申請する対象費用 ・供給計画の年間想定需要(使用端)	※上記の災害要件に該当しない場合でも、基準に準ずる災害と事後検証の結果、認められた場合	・国と協議(必要があれば国の審議会等でも審議)の上、理事会で決議
判断 タイミング	災害基準要件	具体的判断材料																				
発災直後	●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合	-																				
	・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上	・事業者が公表する最大供給支障軒数																				
	・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速: 10分間平均風速の最大値	・気象庁データ他																				
	・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合	・気象庁データ他																				
	・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合	・気象庁データ他																				
事後	●電力供給エリアにおいて、以下に該当する場合	-																				
	・(災害共通) 相互扶助制度の対象費用が5億円以上、あるいは年間想定需要(kWh)×1銭以上	・事業者が申請する対象費用 ・供給計画の年間想定需要(使用端)																				
	※上記の災害要件に該当しない場合でも、基準に準ずる災害と事後検証の結果、認められた場合	・国と協議(必要があれば国の審議会等でも審議)の上、理事会で決議																				
3. 被害状況	<ul style="list-style-type: none"> ・停電発生日時 : 2022年12月22日(木) 20時 ・最大停電日時、戸数 : 2022年12月23日(金) 22時、25,749戸 ・損害設備状況 <ul style="list-style-type: none"> 【送電線】: 66kV紋別東線鉄塔1基倒壊、66kV紋別線断線など 【配電線】: 道内各地における電柱の折損・傾斜・倒壊、高圧線の断線・混触、変圧器の損傷など ・主な停電の原因: 暴風や湿った大雪の影響のため 																					
4. 仮復旧終了日(扱い日)	2022年12月25日(日) 23時																					
5. 申請交付金額 (自己負担一割を除いた額)	358,625,000円																					

- 12月22日夜から23日にかけて、日本海北部と三陸沖の低気圧が発達しながら北海道に近づき、24日は日本の東へ進んだ。その後、25日にかけて冬型の気圧配置となった。北海道地方は、気圧の傾きが大きくなり非常に強い風が吹き、海は大しけとなった。日高地方のえりも岬では猛烈な風も観測された。日本海側北部やオホーツク海側北部では猛ふぶきとなり、オホーツク海側や太平洋側を中心に湿った雪が降り続き大雪となった。太平洋側東部では潮位が上昇した地域もあった。
- 紋別地方の白滝では、24日17時までの48時間降雪量が119センチに達するなど、観測史上1位の降雪量や日最深積雪を更新した。また、宗谷地方の礼文と日高地方の日高では観測史上1位の最大風速を更新した。

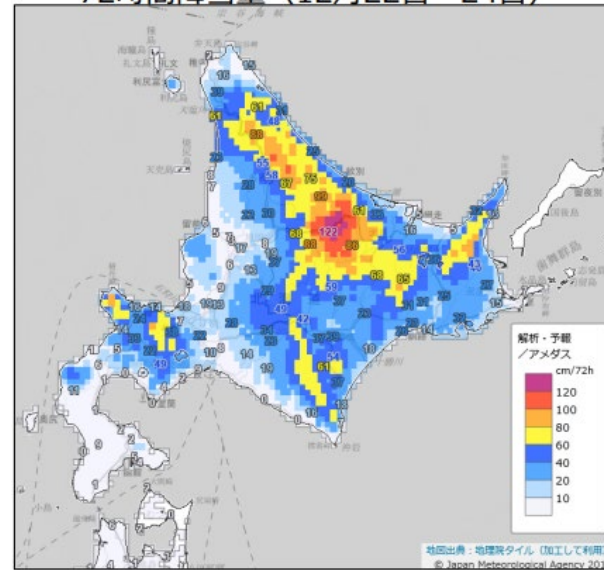
日降雪量（12月23日）



日降雪量（12月24日）



72時間降雪量（12月22日～24日）



順位	地点名	読み	市町村等をまとめた地域	降雪量合計 (cm)
1	音威子府	オホツツ	上川北部	76
2	白滝	ウツ	紋別南部	71
3	滝上	タノ	紋別北部	66

順位	地点名	読み	市町村等をまとめた地域	降雪量合計 (cm)
1	白滝	ウツ	紋別南部	24
2	阿寒湖畔	アホカ	釧路中部	20
3	層雲峡	ソウウン	上川中部	18

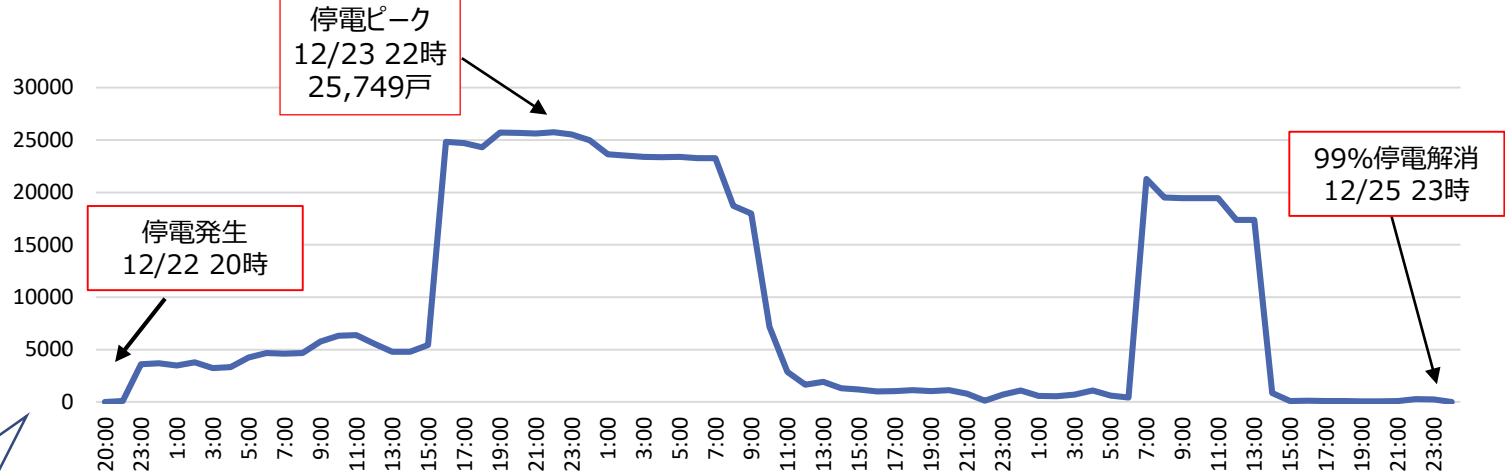
順位	地点名	読み	市町村等をまとめた地域	降雪量合計 (cm)
1	白滝	ウツ	紋別南部	122
2	滝上	タノ	紋別北部	99
3	音威子府	オホツツ	上川北部	88

- 本件は2022年12月に発生した災害であり、2022年1月19日に公表した北海道エリアの2022年度の年間想定需要「28,794百万kwh」により、災害基準要件である「(災害共通) 相互扶助制度の対象費用が年間想定需要(kWh)×1銭以上」を満たすことを確認した。
(北海道電力ネットワーク㈱の申請対象費用398,471,792円を、北海道エリアの2022年度想定需要28,794百万kwhで除すと1.39銭となり、「1銭以上」の災害要件に該当)

表2-2：需要電力量（使用端）（百万kWh）

年度	想定										平均増減率 (%) 2021～ 2031
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
北海道	28,794	28,874	28,788	28,762	28,749	28,800	28,713	28,682	28,668	28,827	0.1
東北	77,803	77,798	77,306	77,022	76,729	76,642	76,134	75,829	75,524	75,429	▲ 0.3
東京	268,212	268,136	267,284	267,148	266,964	267,459	266,506	266,231	265,972	266,415	0.1
中部	127,562	127,868	127,068	126,628	126,161	126,062	125,263	124,789	124,323	124,200	▲ 0.1
北陸	27,332	27,473	27,340	27,277	27,236	27,277	27,164	27,123	27,080	27,118	▲ 0.1
関西	135,384	135,554	134,781	134,474	133,938	133,893	133,128	132,709	132,296	132,245	▲ 0.2
中国	56,780	56,888	56,666	56,600	56,533	56,621	56,399	56,333	56,266	56,353	▲ 0.0
四国	25,227	25,157	24,937	24,797	24,664	24,590	24,386	24,243	24,108	24,037	▲ 0.5
九州	81,314	81,547	81,172	81,005	80,815	80,839	80,420	80,206	79,995	80,000	▲ 0.1
沖縄	7,755	7,873	7,897	7,943	7,987	8,055	8,080	8,126	8,173	8,246	0.7
全国	836,163	837,168	833,239	831,656	829,776	830,238	826,193	824,271	822,405	822,870	▲ 0.1

停電軒数の推移



【災害基準要件】

・相互扶助制度の対象となる仮復旧費用が年間想定需要(28,794百万kWh)×1銭以上

停電発生日時
12/22 20時

停電ピーク
12/23 22時

99%停電復旧
12/25 23時



時間外 日当	該当なし	災害復旧対応・事故対応・巡視等
宿泊 旅費	該当なし	復旧対応に資する申請
直接工事 (資機材)	該当なし	
委託費	仮/本 区分可	変電所構内除雪・紋別東線他事故復旧対応・事故対応伐採等
	仮/本 区分不可	高圧線改修工事・電柱折損改修工事・その他緊急復旧工事等

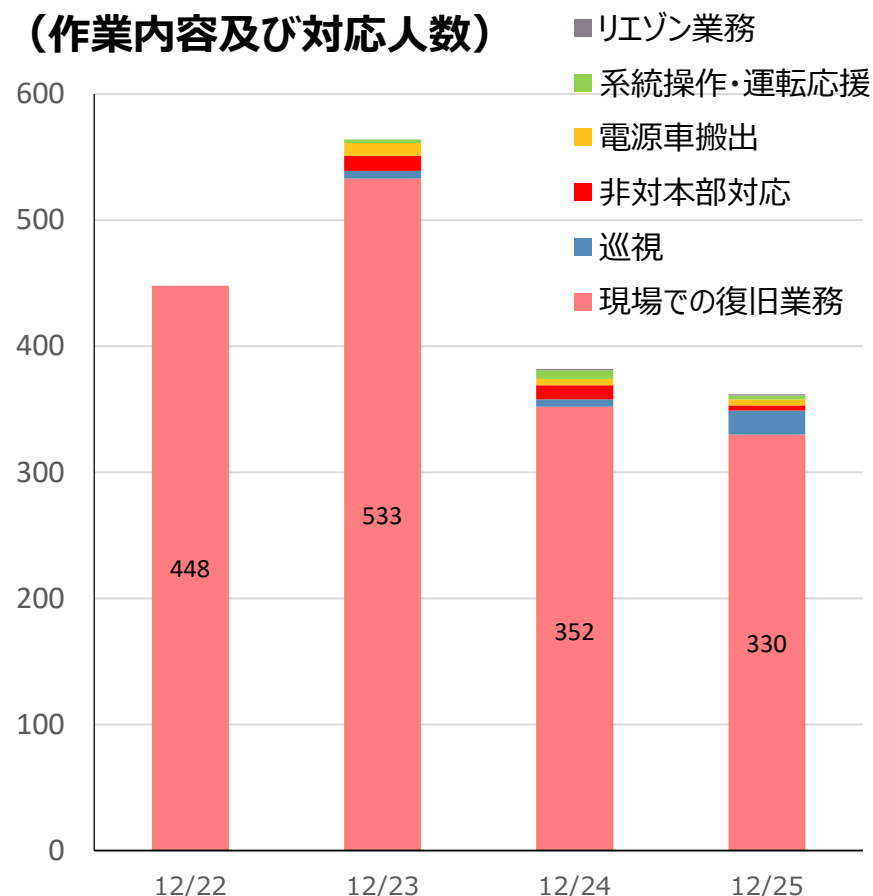
- 時間外労務費・日当の対象として、延べ1,756名が復旧対応にあたった。
- 申請している作業内容が適切か、時間外単価が当該会社の各種規程に基づき適切に計算されているか、申請期間が「仮復旧対象期間（～99%停電復旧日まで）」を逸脱していないか等について審査し、問題ないことを確認した。

<①時間外労務費内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
時間外労務費	35,726	35,726	0
日当	760	760	0
作業手当	90	90	0
計	36,576	36,576	0

(作業内容及び対応人数)



- 人員の移動・宿泊費の対象は、12/22～12/25までの4日間であった。
- 対象となる移動費が証憑と整合しているか、宿泊費が当該会社の各種規程や証憑と整合しているか、利用期間等について相違がないかを審査し、問題ないことを確認した。

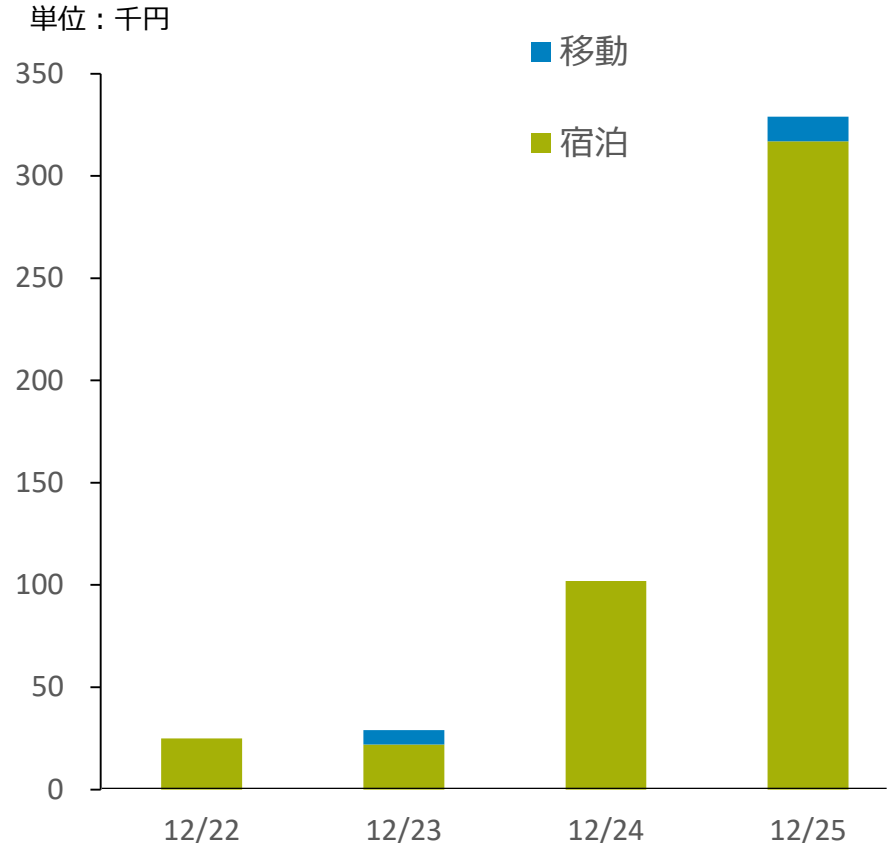
<②人員の移動・宿泊費内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
移動費 (高速代)	19	19	0
宿泊費	465	465	0
計	484	484	0

※千円未満四捨五入

(移動・宿泊費の内訳)



- 電源車等の燃料・移動・点検費の対象は、主に電源車の運送搬入出費・仮設費であった。
- エビデンスに基づき、作業期間や内容に関し審査を行い、申請内容に問題がないことを確認した。

<③電源車等の燃料・移動・点検費>

単位：千円

項目	申請対象 費用	審査額	差異
電源車の稼働費 (人件費・軽油他)	35,735	35,735	0
電源車の移動費 (高速代)	53	53	0
計	35,788	35,788	0

※千円未満四捨五入

- 委託費は、主に紋別東線鉄塔倒壊による復旧や、電柱折損・傾斜・倒壊、高圧線の断線・混触、変圧器の損傷による復旧、倒木除去、巡視のための費用であった。
- エビデンスに基づき、作業期間や内容に関し審査を行い、申請内容に問題がないことを確認した。

<④委託費の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
配線工事等	314,362	314,362	0
倒木除去・伐採	9,118	9,118	0
巡視	1,520	1,520	0
除雪作業	623	623	0
計	325,623	325,623	0

※千円未満四捨五入

- 委託費のうち、紋別東線鉄塔倒壊に伴う仮復旧工事費用（約144,401千円）が総額の約36%を占め、最も大きかった。
- 12/23に紋別線の停止（樹木接触）及び紋別東線の鉄塔倒壊により、紋別市全域、興部町、雄部町、上湧別町が停電した。その後、紋別線の復旧により停電が解消し（その後一度、倒木による断線により紋別線は停止したが復旧）、12/25の23時に99%停電が復旧した。
- しかし、紋別線は1回線であり、この線だけでは供給信頼度を保てないことから、99%停電復旧日以降の12/28に実施した紋別東線の仮復旧工事（仮設ルート）についても対象とした。



12/23 15:32	①紋別線の停止（樹木接触）及び②紋別東線の鉄塔倒壊により大規模停電が発生
12/24 午前	①紋別線の復旧により停電解消（②紋別東線は停止中）
12/25 6:57	再び③紋別線が停止したため大規模停電発生
12/25 午後	③紋別線の復旧により停電解消（②紋別東線は停止中）
12/25 23:00	99%停電解消（②紋別東線は停止中）
12/28 23:28	②紋別東線仮設ルートにより1回線復旧（仮復旧） （紋別線は1回線であり、この線だけでは供給信頼度を保てないことから、紋別東線の仮復旧も対象とした）
S	
2023年3/10	②紋別東線本復旧終了（二回線）



紋別東線No152
鉄塔倒壊（紋別市）



紋別東線
仮復旧状況

(別紙2)

広域総第2023-074号

2023年8月30日

東北電力ネットワーク株式会社

取締役社長

坂本 光弘 殿

電力広域的運営推進機関

理事長 大山 力

災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について

2023年6月23日付で受理致しました「(東北エリア)2022年12月大雪による被害に対する仮復旧費用(2023-01)」に関する災害等扶助交付金の申請について、業務規程第176条の13第1項に基づき、申請内容の精査を行い、業務規程第176条の13第2項に基づき、下記の通り交付金額を決定致しましたので通知致します。

記

1. 件名 (案件番号)

(東北エリア)2022年12月大雪による被害に対する仮復旧費用(2023-01)

2. 交付金額

931,764,000円

3. 交付決定日

2023年8月30日

4. 交付金支払い日

2023年9月29日

以上

(別紙3)

広域総第2023-075号

2023年8月30日

北海道電力ネットワーク株式会社

代表取締役社長

細野 一広 殿

電力広域的運営推進機関

理事長 大山 力

災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について

2023年6月23日付で受理致しました「(北海道エリア) 2022年12月暴風雪による被害に対する仮復旧費用(2023-02)」に関する災害等扶助交付金の申請について、業務規程第176条の13第1項に基づき、申請内容の精査を行い、業務規程第176条の13第2項に基づき、下記の通り交付金額を決定致しましたので通知致します。

記

1. 件名 (案件番号)

(北海道エリア) 2022年12月暴風雪による被害に対する
仮復旧費用(2023-02)

2. 交付金額

358,625,000円

3. 交付決定日

2023年8月30日

4. 交付金支払い日

2023年9月29日

以上